

## 【0128】Bev+mFOLFOXIRI 療法

## 【投与スケジュール】1 コース=14 日

1 コース

一般名	商品名	略号	投与量	1W	2W
ベバシズマブ	アバステン	Bev、BV、Bmab	5mg/Kg	↓ Day1	
イリノテカン	イリノテカン	IRI、CPT-11	150mg/m <sup>2</sup>	↓ Day1	
オキサリプラチン	エルプラット	L-OHP	85mg/m <sup>2</sup>	↓ Day1	
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5-FU	2400 mg/m <sup>2</sup>	↓ Day1~3	

## 【投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間
<b>Day1</b>			
内服	アプレピタントカプセル 125mg	1Cap	イリノテカン投与 60~90 分前
①	生食シリンジ 10mL	1 本	
②	アバステン	5mg/Kg	初回 90 分(※1)
	生食 100mL	1 本	
③	アロキシ静注 0.75mg	1 本	30 分
	デカドロン(3.3mg/1mL)	3 管	
	生理食塩液 100mL	1 本	
④	イリノテカン	150mg/m <sup>2</sup>	60 分
	5%ブドウ糖 250mL	1 本	
⑤	エルプラット	85mg/m <sup>2</sup>	(同時に) 2 時間
	5%ブドウ糖 250mL	1 本	
⑤	レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	
	5%ブドウ糖 250mL	1 本	
⑥	フルオロウラシル	2400mg/m <sup>2</sup>	46 時間
	生理食塩液	(※2)	
⑦	生食シリンジ 10mL	1 本	フラッシュ
<b>Day2、3</b>			
内服	アプレピタントカプセル 80mg	1Cap	分 1 午前中
<b>Day2~4</b>			
内服	デカドロン錠 0.5mg	16 錠	分 2 朝・昼食後

(※1)アバステンは初回 90 分、過敏症状等問題なければ 2 回目 60 分、3 回目 30 分と短縮可

(※2)インヒューザーポンプ使用時は、生食の液量を調整

催吐性	高度リスク
組織傷害性	アバステン:非炎症性 イリノテカン:炎症性 エルプラット:炎症性 フルオロウラシル:炎症性
代表的副作用	アバステン >10%…高血圧、蛋白尿、出血 <1%…血栓塞栓症、消化管穿孔、創傷治癒遅延、可逆性後白質脳症症候群 イリノテカン >10%…骨髄抑制、下痢、悪心、嘔吐、食欲不振 <1%…間質性肺炎 エルプラット >10%…悪心、嘔吐、末梢神経障害、感覚異常、疲労、骨髄抑制 1~10%…アレルギー反応 フルオロウラシル >10%…食欲不振、下痢、口内炎、骨髄抑制 頻度不明…心筋虚血、白質脳症

【注意事項】

- レボホリナートとエルプラットは同時に滴下する  
(アバステン)
- 初回の投与速度は 90 分投与とし、問題が無ければ、60 分、30 分と短縮可  
(イリノテカン)
- UGT1A1 遺伝子多型検査時(必須)には、院内規定の説明文書・同意書を使用する  
(エルプラット)
- 塩化物を含む輸液との配合を避ける(溶解液は 5%ブドウ糖液のみ可)
- 塩基性溶液との混和もしくは同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと